

No. /		土質柱状図		調査期間 昭和63年 6月27日 ~ 昭和63年 6月29日																
調査名 福岡県庁舎改築地質調査委託				調査地点				地盤高 仮B.M.より -0.28m				調査員								
調査地区 福岡市南区 今宿町 1146				ボーリング番号 No. 1孔				地下水位 3.25m - 1.50m				原 野 樹								
標尺 (m)	地下水位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質分類	色調	観察事項	標準貫入試験										試料採取		標尺 (m)
								深度 (m)	打撃回数 (回/cm)	N 値					深度 (m)	番号				
								(回/cm)	10	20	30	40	50							
1	≡	1.70	1.70	X	盛土	茶褐色	上層部は根拠ある土質構成は不明なり砂(ある)	1.15 1.25	1	6	3	10			緩	1.15 1.25	1-1	1		
2							1.70~4.60mの間含水非常に多く崩壊性大い。	2.15 2.25	1	1	2	4			緩	2.15 2.25	1-2	2		
3							4.60~6.80mの間は中粒砂主体で貝殻が片が多く混入する。	3.15 3.25	2	2	1	5			緩	3.15 3.25	1-3	3		
4		6.80	5.10		シルト まじり砂	暗灰		4.15 4.25	1		1/20	2			緩	4.15 4.25	1-4	4		
5								5.15 5.25	1	1	2	4			緩	5.15 5.25	1-5	5		
6								6.15 6.25		1/15	1/15	2			緩	6.15 6.25	1-6	6		
7		7.70	0.90		砂質シルト	暗灰	軟弱質で20~30%の中粒砂が混入している。	7.15 7.25		1/20	2	3			緩	7.15 7.25	1-7	7		
8		8.80	1.10		砂	黄褐色	粗粒砂主体で含水大い。	8.15 8.25	2	3	4	9			緩	8.15 8.25	1-8	8		
9		9.60	0.80		粘土 まじり砂	黄褐色	20%程度粘土を混入した粗粒砂	9.15 9.25	4	2	2	8			緩	9.15 9.25	1-9	9		
10		10.70	1.10		粘土 まじりシルト	黄褐色	軟弱で10~20%程度の粘土を混入。	10.15 10.25	1	1	1	3			緩	10.15 10.25	1-10	10		
11		11.70	1.00		シルト	黄褐色	軟弱質で含水大い。	11.15 11.25		1/15	1/15	2			緩	11.15 11.25	1-11	11		
12		12.60	0.90		粘土	黄褐色	部分的に固結化が進行したと思われる。	12.15 12.25	1	2	2	5			緩	12.15 12.25	1-12	12		
13							粗粒砂主体で45~20%程度の小礫(未風化花崗岩)が15~20%混入する。	13.15 13.25	6	6	5	17			緩	13.15 13.25	1-13	13		
14								14.15 14.25	3	3	3	9			緩	14.15 14.25	1-14	14		
15		15.70	3.10		礫 まじり砂	黄褐色		15.15 15.25	3	5	5	13			緩	15.15 15.25	1-15	15		
16		16.80	1.10		粘土 まじり砂	茶褐色	粗粒砂主体で20~30%程度の粘土を混入。	16.15 16.25	4	5	6	15			緩	16.15 16.25	1-16	16		
17							粗粒砂主体で40~20%程度の未風化花崗岩礫が下層に混入して徐々に混入する。	17.15 17.25	6	7	7	20			緩	17.15 17.25	1-17	17		
18		18.90	1.10		礫 まじり砂	黄褐色		18.15 18.25	6	7	6	19			緩	18.15 18.25	1-18	18		
19							18.90~22.70mの間礫母岩の長石類が著しく同化し粘土化が進行している。	19.15 19.25	12	4	3	19			緩	19.15 19.25	1-19	19		
20								20.15 20.25	2	3	3	8			緩	20.15 20.25	1-20	20		
21							粘土化が進行している。	21.15 21.25	3	4	4	11			緩	21.15 21.25	1-21	21		
22							粘土化の母岩のクラック部で岩構造は消滅している。	22.15 22.25	4	5	5	14			緩	22.15 22.25	1-22	22		
23							25.70~29.60mの間一様に同化進行土砂状を呈す。	23.15 23.25	5	6	7	18			緩	23.15 23.25	1-23	23		
24								24.15 24.25	6	5	6	17			緩	24.15 24.25	1-24	24		
25								25.15 25.25	3	5	6	14			緩	25.15 25.25	1-25	25		
26							下層に於て漸次細粒化が著しくなる。	26.15 26.25	6	7	10	23			緩	26.15 26.25	1-26	26		
27								27.15 27.25	6	12	12	30			緩	27.15 27.25	1-27	27		
28								28.15 28.25	8	11	13	32			緩	28.15 28.25	1-28	28		
29		29.60	10.70		砂土	黄褐色		29.15 29.25	10	13	20	43			緩	29.15 29.25	1-29	29		
30							岩内部が風化進行するも石英は未風化で岩の構造を残す。	30.15 30.25	13	17	29	59			緩	30.15 30.25	1-30	30		
31								31.15 31.25	13	16	19	48			緩	31.15 31.25	1-31	31		
32								32.10 32.25	16	21	13	51			緩	32.10 32.25	1-32	32		
33		33.00	3.40		風化 花崗岩	黄褐色		33.10 33.25	18	22	10	51			緩	33.10 33.25	1-33	33		

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります。現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。